

令和6年度 指定管理者モニタリング評価表

1 施設の概要

施設名	ねごろ歴史の丘物販・情報施設		
所在地	岩出市根来2020-1		
制度導入年月	R6.4.1	所管課	産業振興課

2 指定管理者の概要

指定管理者	特定非営利活動法人はまゆう J A P A N A		
所在地	和歌山県和歌山市吹屋4丁目34番		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	年数	5年
選定方法	公募 ・ 非公募	指定管理料	期間合計 0円
受託区分	新規 ・ 更新	令和6年度	0円
主な業務内容	- 施設の維持管理に関する業務 - 道の駅の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務 - 自主事業		
有料施設の有無	有 ・ 無	指定管理料	有 ・ 無

3 利用実績

施設の利用状況	指標 (単位)	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標比 (%)	対前年度比 (%)
	販売高 (円)	50,000,000	58,844,457	48,673,081	117.69%	120.90%
	来客数 (人)	45,000	46,976	40,621	104.39%	115.64%
【特記事項】						

4 利用者による評価

利用者への調査	実施時期	4月～3月	調査対象	来店者
	調査方法	聞き取り		
調査結果	和歌山土産の販売と、年間を通した季節の果物を使用したパフェの販売を評価していただいている。			
利用者からの意見 要望・苦情等	ランチタイムの呼び出しに時間がかかっているという苦情があった。時間短縮のため、順番が来たら機械で呼び出すシステムを導入し業務効率が向上した。パフェについては、開店前の行列によるお客様の負担があったため、整理券の配布をおこなうよう改善した。			

5 指定管理者による自己評価

評価	事業計画書に基づき適切に管理・実施し、SNSで新商品のPRを積極的に行った。また、苔玉体験、手作り菓子、地元野菜の販売等マルシェを定期的に行い、集客に努めた。
今後の目標	地元岩出市の産品のPRを更に行い、岩出市の情報発信基地として、施設・設備の保安全管理に努める。来年度の売上については、5%増を目指す。

6 市（所管課）の総合評価

評価	事業計画書に基づき、物販・カフェともに適正な運営が行われており、来客数、販売高ともに目標数値を達成している。また、季節の果物を使用したパフェの販売や、地域色を活かした定期的なマルシェなどの開催は集客にも効果をあげており、地域との連携にも寄与している。
指摘事項	今後も地元産品のPRをさらに強化し、地域の情報発信基地として役割を果たしつつ、施設の維持管理にも引き続き取り組まれることを期待する。

7 管理運営状況に係る個別評価

		施設名	花笑み館	
		所管課	産業振興課	
評価項目及び評価基準		自己評価	所管課評価	確認資料等
1	組織、職員配置などの実施体制			
	業務を実施するために適切な人員配置をなされているか	B	B	事業計画等
	業務その他必要な事項に関して必要な教育が十分実施されているか	B	B	事業計画等
	業務遂行に必要な資格を有する者の配置がなされているか	B	B	事業計画
2	施設全般の管理運営状況			
	施設の現状を正しく認識し、将来的な展望を具体的に考えているか	B	B	事業計画、月報等
	公の施設であることを念頭に置いて公平な運営を行っているか	B	B	事業計画
	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか	B	B	事業報告等
	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われているか	B	B	事業計画、月報等
	事業計画書に基づき適正且つ効率的な運営を行っているか	B	B	事業計画、事業報告等
	効率的且つ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めているか	B	B	事業報告等
	市、施設利用者、事業者と良好な関係を維持しているか	B	B	事業報告等
	法定点検が実施されているか	B	B	事業報告等
	整理整頓、清掃、植栽等について手入れがなされているか	B	B	実地、事業報告等
3	サービスの向上への取組状況			
	利用者に対して満足度の調査（アンケート、意見箱の設置等）を行ったか	B	B	窓口対応
	利用者の意見を管理運営に反映されているか	B	B	苦情記録等
	苦情やトラブルに対し、適切、迅速に対応しているか	B	B	苦情記録等
	災害時、緊急時の危機管理体制は確立されているか	B	B	事業計画(マニュアル)
4	個人情報の保護			
	個人情報は適正に管理されているか	B	B	事業計画
5	経理の執行状況			
	適正に経理処理が実施されているか	B	B	決算書類等
	収支予算書と比較して大きな隔たりはないか	A	A	事業計画・決算書類
6	施設の利用状況			
	前年度と比較して入館者数、施設稼働率等に著しい差異はないか	A	A	業務報告書、増減分析
	利用者の増加に向けての広報は適切に行っているか	A	A	パンフレット
7	市への報告体制			
	月例報告等、実績報告等の必要な報告が適切に提出されているか	B	B	事業報告、月報等
	新たな事業実施について必要な報告がされているか	B	B	事業報告、記録簿等

【評価基準】	A（優 良）	計画書等を上回る優れた施設運営が行われた
	B（適 正）	計画書等に沿った施設運営が行われた
	C（課題有）	概ね計画書等に沿った施設運営が行われたが課題がある
	D（要改善）	計画書等の水準に達しない施設運営であり、改善の必要がある